

仏教と人々の願い

学習日 月 日

点

1 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

平安時代のなかば、貴族たちの間に、それまでとは異なる文化が育っていった。
このころ、釈迦の死から長い年月がたつと仏の教えがおとろえるという考えが広まり、
人々は不安をつのらせた。そうしたなか、死後の救いを願う信仰が、貴族から庶民にまで
広まっていった。

① 釈迦の死から長い年月がたつと仏の教えがおとろえるという考えを何というか。

()

② 死後の救いを願うこの信仰を何というか。

()

③ ②はどのような信仰か。「阿弥陀如来」「念仏」「極楽浄土」の語を使って書きなさい。

()

④ ②が広まるにつれて各地に建てられるようになった、仏像をまつる建物を何というか。

()

2 右の図1・図2を見て、あとの各問いに答えなさい。

① 図1の建物の名と、これを建てた人物を答えなさい。

図1

建物 () 人物 ()

② 図1の建物がある場所を、次から1つ選びなさい。

現在の京都府宇治市 現在の奈良県奈良市
現在の滋賀県大津市

() 図2

③ 図2の建物の名と、これを建てた一族の名を答えなさい。

建物 () 一族 ()

④ 図2の建物を建てた一族の根拠地を、次から1つ選びなさい。

[ア 博多 イ 平泉 ウ 鎌倉] ()

⑤ 図1・図2の建物にはどちらも、当時の貴族の住まいと同じつくりが取り入れ
られている。このつくりを何というか。

()



解答

1

- ① 末法思想
- ② 浄土信仰
- ③ 念仏を唱えて阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰。
- ④ 阿弥陀堂

2

- ① 建物 平等院鳳凰堂 人物 藤原頼通
- ② 現在の京都府宇治市
- ③ 建物 中尊寺金色堂 一族 奥州藤原氏
- ④ イ
- ⑤ 寝殿造